

三浦外洋セーリングクラブオンライン理事会議事録

開催日：2020年5月12日（水）18:30～19:45

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、飯島、小川、尾山、加藤、北川、黒岩、小板橋、才藤、庄野、関根、
高木、三輪

監 事：最川、石原

顧 問：児玉

（敬称略）

庄野会長より、Zoom ミーティングによる会議開始時点で12名の理事が参加していることから、理事会の成立が確認された後、会長が議長となり、議事録作成に小板橋理事、議事録署名については荒嶋理事から小川理事に指名を変更して、下記議案につき審議した。

<審議事項>

1. J S A Fガバナンスコード

尾山副会長から、メールにて事前配布された資料について、何かコメントがあれば連絡がほしい旨、また積極的に出す必要はないので、秋から後半にかけて公開する予定であること、将来的にはコンプライアンス委員会を立ち上げ取り組んでいく姿勢が示され、承認された。

2. コロナ対応、長期戦を前提にM O S Cのガイドラインを検討する

議長から、①いつ、何を根拠に、レース活動を再開すべきか？②仮に再開する場合に、何を注意事項とするか？③狭いキャビン内で寝泊まりする外洋レースの安全性・感染症対策 ④その他、頭に入れておくべき事項は？という観点から各理事の意見を出して貰い、纏めたものをメールで配信することとなった。主な意見として、世界基準としてワールドセーリングの見解を参考にする、自己責任をSIに記載する、外洋レースは3密と成り易いからショートハンドなど新しい形の提案が必要と思われる、艇長会議・表彰式・パーティーなしのやり方が必要では、地元からの要請で緊急事態宣言中は来ないで欲しいとのこと などがあった。

3. 6月以降のレース計画

具体的なレース計画については、①湘南レースは毎月ごと判断する、②KFRは毎月ごと判断する、③相模湾オープンは6月入ってからでも準備が間に合うのでその頃に判断する、④トランスサガミは5月末の様子を見て判断する、⑤小網代カップは時間があるので然るべき時期に判断する、⑥ショートハンドチャレンジは5月18日エントリー開始であることから外洋三崎に中止要請をする とのことで承認された。

4. その他

議長から、次回までの検討事項については差し当たりなしとのことで、確認された。

<報告事項>

1. JSAF 理事選挙

議長から、外洋系の理事は順当に当選したが、江ノ島の作田理事が落選されたとの報告があった。

2. ダブルハンド世界選手権 国内予選

庄野会長及び児玉顧問から等、国内予選は中止となり、ワールドの開催についても流動的であり、仕切り直しとなるであろうとの報告があった。

3. JSAF 会員・艇登録作業（事務局）

関根事務局長より、JSAF 会員及び艇登録については昨年とほぼ同様であり、順調に作業が行っているとの報告があった。

4. ミドルボート選手権等、中止のレース報告（事務局他）

飯島理事、関根事務局長などから、6 月以降のレース計画等の他、今後中止が予想されるレースについての報告があった。

5. その他

三輪理事から、ルール改正はスケジュール通り 2021 年 1 月 1 日で実施される旨の報告があった。

児玉顧問から、世界的なコロナウィルス蔓延の中での、パラオからの日本への回航状況や今後の予定等について報告があった。

以上で本日の議事をすべて終了し、19 時 45 分閉会した。

以 上

2020 年 月 日

議事録署名人